

令和6年

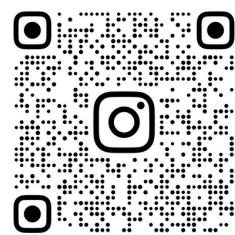
松山市立図書館の概要

のコーナーにある図書
すべてご利用いた
ます。
音声デイズの貸出は2階
ファレンス室へお越し
ください。



**公式Instagram
はじめました！**

QRコードで追加または、
ID：matsuyama.libで検索



MATSUYAMA.LIB

目 次

1. 松山市の概要	1
2. 沿革	2
3. 組織・事務分掌等	7
(1) 組織図	7
(2) 事務分掌	7
(3) 図書館協議会	7
(4) 職員	8
4. 令和6年度当初予算	9
5. 施設	10
(1) 中央図書館	10
(2) 移動図書館	11
(3) 三津浜図書館	12
(4) 北条図書館	14
(5) 中島図書館	16
(6) 松山市視聴覚ライブラリー	17
6. 資料及び利用状況等	18
(1) 令和5年度末分類別蔵書構成	18
(2) 令和5年度末視聴覚資料構成	18
(3) 令和元年度以降の資料及び利用者数の推移	20
(4) その他の図書館利用状況	21
① レファレンス利用	21
② コピーサービス	21
③ 予約・リクエスト受付	21
④ 郵送貸出	21
⑤ 団体貸出	21
⑥ 相互貸借	21
⑦ 除籍資料提供数	21
⑧ ベストリーダー・ベストリクエスト	22
⑨ 蔵書数・貸出冊数の推移	24
⑩ 館別利用者数の推移	24
⑪ 令和5年度月別予約件数	24
(5) 令和5年度松山市視聴覚ライブラリー利用統計	25

7.	行事及び事業の実施状況	26
	(1) 令和5年度に実施した各種行事、講座・研修事業	26
	(2) 館内展示一覧	30
	(3) 図書館の各種取り組み	32
	(4) 子ども読書活動推進事業	35
	(5) まつやま圏域図書館の連携	37
	(6) 各計画・指標の検証	37
8.	図書館ボランティア一覧	40
関	係 例 規 等	41
	松山市立図書館条例	42
	松山市立図書館条例施行規則	44
	松山市立中央図書館事務規則	54
	松山市立図書館資料複写事務取扱規則	57
	松山市立図書館資料除籍・廃棄基準	59
	松山市立図書館除籍資料の再利用実施要領	60
	図書館資料寄贈者に対する感謝状等贈呈基準	61
	松山市立図書館団体貸出要領	62
	松山市立図書館現物貸借図書閲覧・複写事務取扱要領	68
	松山市立図書館での電子機器等の持込み使用に係る規定	70
	松山市立図書館デジタル情報取扱要領	75
	松山市立図書館個人向け障がい者等サービスの実施要領	81
	大活字本の貸出しに関する取扱要領	85
	松山市ブックスタート事業実施要綱	86
	松山市立図書館の図書館資料の弁償に関する取扱要綱	87
	松山市立図書館資料収集方針	90
	松山市立図書館資料選定基準	92
	松山市立図書館相互貸借取扱要領	95
	松山市移動図書館巡回場所の設置及び運営基準	98
	松山市立図書館資料複写事務に関する取扱要領	105
	松山市視聴覚ライブラリー規則	110

1. 松山市の概要

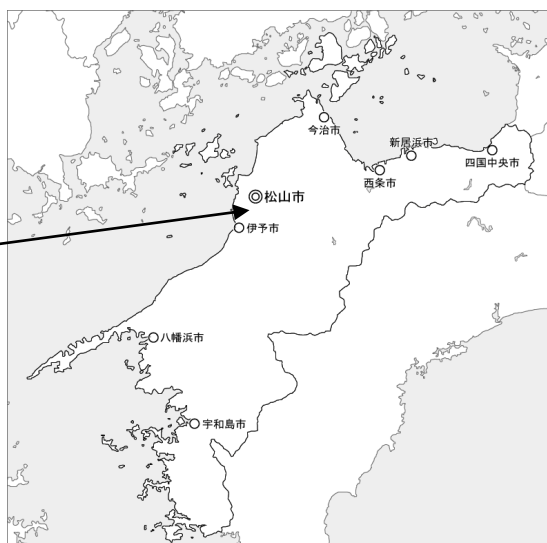
松山市は、愛媛県の中央部に位置し、松山平野の北東部から高縄半島の西部、忽那諸島などから構成されています。気候は温暖な瀬戸内海気候で、積雪や台風の影響も少なく、おだやかで恵まれた自然環境にあります。

また、松山市には日本最古の温泉といわれる道後温泉や、名城松山城など数々の文化遺産があり、さらに、俳聖正岡子規をはじめ、多くの文人を輩出した地方文化の拠点でもあります。

明治 22 (1889) 年市制を施行以来、観光・商業・港湾といったさまざまな機能を備えた県都として発展してきました。平成 12(2000)年には中核市へ移行し、平成 17 (2005) 年には北条市・中島町と合併し、四国初の50万都市となりました。

松山市の推計人口 (令和6年4月1日時点)

人	口	499,326 人
世	帯	数 244,104 世帯



面積 429.35 km²

位置 (市庁舎)

東経 132 度 46 分

北緯 33 度 50 分

2. 沿革

大正	13(1924)年	12月	昭和天皇のご成婚を記念して三津浜町営図書館開館
昭和	15(1940)年	8月	三津浜町の松山市編入に伴い、松山市立三津浜図書館となる
	48(1973)年	11月	移動図書館「つばき1号」新規購入、三津浜図書館を基地として巡回開始
	49(1974)年	10月	移動図書館「つばき2号」新規購入、三津浜図書館を基地として巡回開始
	53(1978)年	12月	松山市総合コミュニティセンター建設構想発表
	55(1980)年	5月	市民各層代表で構成する松山市コミュニティセンター建設推進協議会設置、 コミュニティセンター内に市立図書館設置を決定
	58(1983)年	7月	教育委員会社会教育課内に図書館係を設置
	59(1984)年	8月	松山市立図書館選書委員会設置
		10月	図書館を含む総合コミュニティセンター第2期工事に着手
	60(1985)年	4月	教育委員会社会教育課内に図書館開設準備室を設置
		5月	図書館の名称を松山市立中央図書館と決定
		10月	移動図書館「つばき1号」新車に更新、巡回開始
	61(1986)年	11月	移動図書館「つばき2号」新車に更新、巡回開始
		12月	図書館を含む総合コミュニティセンター第2期工事完成
		12月	松山市立図書館条例制定
	62(1987)年	2月	松山市立図書館条例施行規則制定
		3月	図書館を含む総合コミュニティセンター落成式挙行
		3月	松山市読書振興連絡会設立総会開催
		4月	松山市立中央図書館開館、中央図書館事務局を設置
		5月	移動図書館「つばき3号」「つばき4号」新規購入、4台に増車、定時定曜日運行 の新方式による巡回開始
		7月	松山市立図書館協議会設置
	63(1988)年	4月	北条市立図書館開館
		10月	中央図書館「盲人用録音物等発受施設」に指定、障がい者サービス開始
平成	元(1989)年	4月	中央図書館において洋書の受入・貸出開始
	2(1990)年	4月	松山市視聴覚ライブラリー、生涯教育課から中央図書館へ移管
	3(1991)年	8月	第1回「子ども一日図書館員」開催、以後毎年開催
	4(1992)年	12月	三津浜図書館 建替用地購入
	5(1993)年	3月	図書館案内テレホンサービス開始

	6(1994)年	3月	松山市立三津浜図書館建替え工事完成
平成	6(1994)年	4月	松山市立三津浜図書館開館
		6月	貸出用ビデオ貸出開始
	8(1996)年	11月	移動図書館「つばき1号」新車に更新、機能アップし巡回開始
	9(1997)年	10月	移動図書館「つばき2号」新車に更新、機能アップし巡回開始
		10月	移動図書館通信システム稼動
	10(1998)年	11月	移動図書館「つばき3号」新車に更新、機能アップし巡回開始
	11(1999)年	7月	図書館情報システム全面リニューアル
	12(2000)年	2月	移動図書館「つばき4号」新車に更新、機能アップし巡回開始
		4月	中島町立図書館開館
	14(2002)年	7月	全館資料の蔵書点検作業実施(10日間)
		10月	小・中学校への団体貸出開始
	15(2003)年	4月	インターネットによる蔵書検索システム運用開始
		4月	レファレンス室入室者用のロッカー設置
		4月	防犯カメラ設置
	17(2005)年	1月	北条市・中島町の松山市編入に伴い、松山市立北条図書館・松山市立中島図書館となる
		9月	図書館情報システムのリプレイス及び、合併に伴う全館オンラインシステムの構築
		10月	インターネット図書予約システム運用開始
		11月	「まつやま子ども読書活動推進計画」を策定、公表
	20(2008)年	4月	中央図書館(一般コーナー・児童コーナー・AVコーナーのみ)・三津浜図書館・北条図書館の窓口業務の民間委託開始
		7月	中央図書館において、商用データベース(聞蔵Ⅱビジュアル、Lexis AS ONE、官報情報検索サービス、日経テレコン21)の利用者開放、プリントアウトサービス開始
	21(2009)年	5月	中央図書館においてCD資料の館外貸出開始
	22(2010)年	2月	中央図書館柱広告公募開始
		7月	三津浜図書館においてCD資料の館外貸出開始
	23(2011)年	3月	「第2次まつやま子ども読書活動推進計画」を策定、公表
	24(2012)年	1月	インターネット端末の利用者への提供開始
			中央図書館が、国立国会図書館が配信する「歴史的音源」の配信提供参加館

		となる
平成 24(2012)年	3月	中央図書館、三津浜図書館、北条図書館においてDVD資料の館外貸出開始
	4月	移動図書館車の大型商業施設への巡回開始(3箇所)
25(2013)年	4月	雑誌スポンサー制度開始
	10月	「どくしょつうちょう」の配布開始
26(2014)年	3月	移動図書館「つばき1号」「つばき3号」新車に更新、機能アップし巡回開始 (車両デザインについて、初めて一般公募を行う)
26(2014)年	4月	移動図書館車の大型商業施設巡回場所を1箇所増設
	7月	中央図書館において「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の利用開始
	7月	中央図書館において夏休み期間中月曜開館を開始
	10月	松山市議会事務局議事調査課より、市議会図書室と当館資料の借受や、レファレンスの利用についての連携に関する取り決めを行う
	11月	市内の中・高校生を対象に「第一回 ビブリオバトル」を開催
27(2015)年	4月	図書・雑誌の貸出冊数の上限を、5冊から10冊に引き上げる
	4月	ブックスタート事業開始
28(2016)年	2月	「第3次まつやま子ども読書活動推進計画」を策定、公表
	4月	移動図書館業務の委託開始
	7月	移動図書館車の土曜日と日曜日の巡回を増やし、大型商業施設4箇所と児童館、児童センター4箇所への巡回を開始(大型商業施設等の長時間停留図書館サービスポイントは計12箇所)
	10月	中高校生向けコーナー「青春本棚」設置(『青春本棚通信』(季刊)発行開始)
29(2017)年	3月	移動図書館「つばき2号」、コミュニティ助成事業(宝くじ)助成金により新車に更新、機能アップし巡回開始(車両デザインをデザイン専門学校と中学生がコラボ)
	3月	連携中枢都市圏形成に係る連携協約及びまつやま圏域未来共創ビジョンに基づき松山圏域の活性化を図るため、個別協定「まつやま圏域図書館の連携に係る協定」を締結
	5月	「まつやま圏域図書館の連携に係る協定」に基づき、“対象圏域内にある公共図書館の利用対象を圏域内の住民すべてに拡大する”取組を開始
	6月	園専用カード発行開始
	8月	松山市立図書館公式Facebook 開始

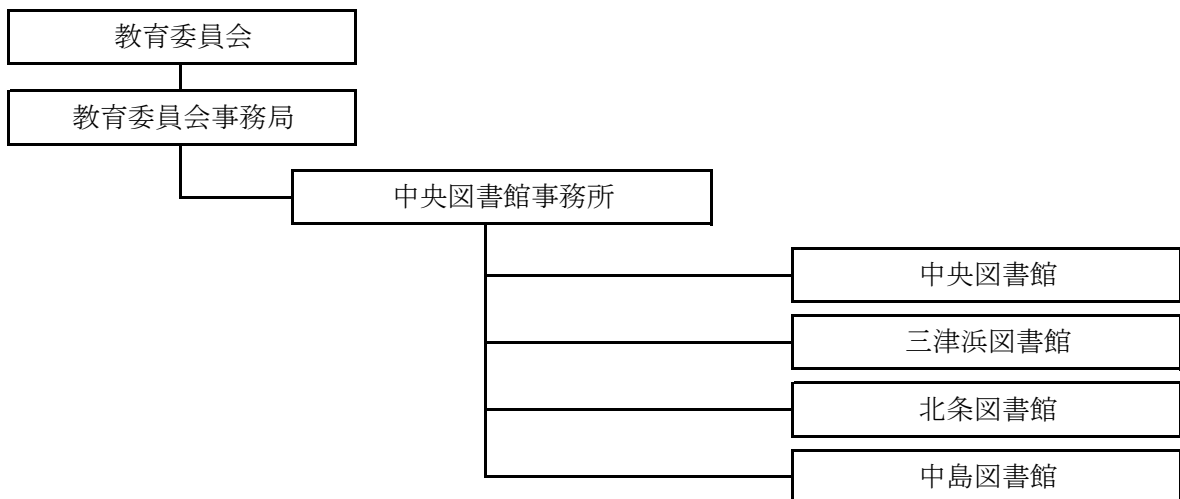
(URL <https://www.facebook.com/matsuyama.lib/>)

平成	30(2018)年	1月	味生・畑寺児童館、南部児童センターで予約図書を受取・返却サービス開始
		3月	中央図書館障がい者図書コーナーにLLブックコーナーを設置
		9月	中央図書館・三津浜図書館に自習室を開設
	31(2019)年	1月	福袋配布開始
		3月	移動図書館「つばき4号」、コミュニティ助成事業(宝くじ)助成金により新車に更新、機能アップし巡回開始 (車両デザインを愛媛大学との大学連携に中学生がコラボ)
		4月	「とじよかんだより」、「青春本棚通信」学校用グループウェアミライム配信開始
令和	2(2020)年	4月	新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、図書館全館を4月15日から5月11日まで臨時休館(27日間)
	2(2020)年	9月	ヤングアダルト世代への読書活動推進の実績が評価され、ビブリオバトル普及委員会より「ビブリオバトルオブザイヤー2020 特別賞・坊っちゃんも応援しているで賞」を受賞
		11月	ドイツ・フライブルク市から寄贈された公衆電話ボックスを「図書館除籍本リサイクルボックス」として再利用
	3(2021)年	3月	「第4次まつやま子ども読書活動推進計画」を策定、公表
		4月	新型コロナウイルスの感染症拡大のため、図書館全館を4月10日から5月31日まで臨時休館(52日間)
		5月	HP・Facebookで「マツシヨ通信」配布(5月8日～5月31日) 三越の図書返却サービス開始 本の有料宅配サービス開始
		7月	電話によるリクエスト受付開始
		8月	新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、図書館全館を8月20日から9月30日まで臨時休館(予約資料の貸出を行う)(42日間) HP・Facebookで「マツシヨ通信」配布(8月20日～9月30日)
		9月	松山市立図書館資料収集方針 施行 松山市立図書館資料選定基準 施行 松山市立図書館相互貸借取扱要領 施行 松山市立図書館資料除籍・廃棄基準(全部改正) 施行
		12月	自習室へのWi-Fi設備を設置
	4(2022)年	6月	松山市立図書館個人向け障がい者等サービスの実施要領 施行

令和	4(2022)年	12月	図書館情報システムのリプレイス(京セラコミュニケーション ELCIELO に更新) <ul style="list-style-type: none"> ・セルフ貸出機の設置 ・カードレス貸し出しの運用開始 ・マイナンバーカードを使った貸し出しの運用開始
	5(2023)年	1月	中央・三津浜図書館のレファレンス室の一部を自習室に併用
		5月	中央図書館2階障がい者向け図書コーナーを移転リニューアルし、1階読書バリアフリーコーナーを開設

3. 組織・事務分掌等

(1) 組織図



(2) 事務分掌

- (1) 松山市教育委員会事務局組織規則(平成4年教委規則第6号)第3条第1号に掲げる事項
- (2) 図書館の管理運営に関すること。
- (3) 図書館協議会に関すること。
- (4) 図書館、分室及び配本所の設置並びに改築の計画に関すること。
- (5) 三津浜図書館に関すること。
- (6) 北条図書館に関すること。
- (7) 中島図書館に関すること。
- (8) 視聴覚教育及び視聴覚ライブラリーの運営に関すること。
- (9) 公印の管理に関すること。
- (10) 文書の收受及び発送に関すること。
- (11) ふるさと松山学等出版物の販売に関すること。
- (12) その他図書館に関すること。

(3) 図書館協議会

松山市立図書館協議会委員名簿

令和6年4月1日現在

図書館法第15条区分	氏名	役職名
学校教育の関係者	西岡 香恵	松山市立小学校長会 図書館担当
	悦内 誠二	松山市立中学校長会 図書館担当
	木村 英理子	松山市立清水小学校 図書館運営支援員
	山崎 綾	松山市立椿中学校 図書館運営支援員
	玉井 喜久子	済美平成中等教育学校 司書助教諭
	鵜久森 克	松山市立幼稚園教育研究協議会長
社会教育の関係者	高須賀 妙	松山市小中学校PTA連合会副会長
	重永 美樹子	えひめ紙芝居おはなし会 会員
	松浦 裕子	(おはなしボランティア 団体)みどりのゆび 代表
	山崎 克子	(音訳ボランティア グループ)あいの会 代表
	戸田 敏子	(点訳ボランティア グループ)めばえ 副会長
学識経験者	菅 弥和乃	絵本専門士
	神谷 厚德	松山大学図書館 館長

(任期:令和7年7月31日まで)

(4)職 員

令和6年4月1日時点

館 名		分 担 内 容	事 務 職	再 任 用	会 計 年 度 任 用	計	委託スタッフ 0は司書数
中 央 図 書 館	館 長	総括	0	1	0	1	
	所 長	事務及び管理運営の総括	1	0	0	1	
	図書館管理 運営 ・総務担当	図書館の管理運営の総括に関する事 図書館の広報、広告に関する事 移動図書館の業務に関する事 図書館情報システムの運営に関する事 図書館の施設管理に関する事 予算の執行管理、庶務のとりまとめに関する事 図書館協議会に関する事 図書館、分室・配本所の設置に関する事 地域館の業務に関する事 文書の収受、発送に関する事 ふるさと松山学等出版物の販売に関する事 縣市図書館連携に関する事 視聴覚ライブラリーに関する事	4	0	2	6	
	図書館サー ビス ・読書推進担 当	図書館サービスの総括に関する事 レファレンスサービスに関する事 障がい者向けサービスに関する事 学校との連携、調べもの支援事業に関する事 子ども読書活動推進事業に関する事 ブックスタートに関する事 読書会、講座等読書振興事業に関する事 団体貸出に関する事 まつやま圏域図書館連携に関する事 縣市図書館連携に関する事	3	0	3	6	
	小 計			8	1	5	14
三津浜 図 書 館	館 長	総括		1		1	8(2)
北 条 図 書 館	館 長	総括		1		1	5(2)
中 島 図 書 館	館 長	総括	(1)				
	中島図書館 担 当	中島図書館に関する事	[1]		1	2	0
合 計			9	3	6	18	57(19)

※ ()は図書館以外が主職の兼務(職員総数には含まず)主職：中島総合文化センター所長

※ []は図書館が主職の兼務 兼務：中島総合文化センター

職員総数 18 名 (愛媛県図書館協会費 算定基礎 館長含むフルタイム職員数)

正職員 10 名 (56%) ※中島図書館長を含む

再任用職員 3 名 (17%)

会計年度任用職員 5 名 (28%) ・時短職員含まず(1名)

総数18名のうち、司書有資格者 4 名 (22%)

4. 令和6年度当初予算

(款)教育費 (項)社会教育費 (目)図書館費 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	節	
				区分	金額
職員人件費	89,597	106,469	△ 16,872	2 給料	49,750
				3 職員手当等	23,714
				4 共済費	16,133
図書館運営事業	245,356	228,602	16,754	1 報酬	75
				7 報償費	14
				8 旅費	17
				10 需用費	29,557
				11 役務費	1,838
				12 委託料	191,962
				13 使用料及び賃借	13,967
				14 工事請負費	7,742
				16 原材料費	0
				18 負担金補助及び交付金	184
図書館資料購入事業	57,000	32,000	25,000	10 需用費	55,400
				17 備品購入費	1,600
読書振興事業	786	748	38	7 報償費	649
				8 旅費	16
				10 需用費	10
				13 使用料及び賃借料	111
ブックスタート事業	2,048	2,100	△ 52	10 需用費	2,048
会計年度任用職員人件費	16,719	16,149	570	2 給料	10,599
				3 職員手当等	3,255
				4 共済費	2,865
図書館費合計	411,506	386,068	25,438		

(款)教育費 (項)社会教育費 (目)視聴覚ライブラリー費 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	節	
				区分	金額
視聴覚ライブラリー運営事業	0	85	△ 85	8 報償費	0
				11 需用費	0
				18 備品購入費	0
				19 負担金補助及び交付金	0
視聴覚ライブラリー費合計	0	85	△ 85		

※令和6年度から、視聴覚ライブラリー事業は、図書館運営事業に統合した。